数はいくつ？

１１－１２歳

パズル、論理

易しい

共同で問題解決

概要

数当てゲームです。子供たちをグループに分けて、それぞれのグループに以下のカードを配ります。それぞれのカードには数当てのためのヒントが書いてあります。それぞれのグループの子供たちは他のグループの子供たちとカードの内容を交換しあって、「６つの数はそれぞれいくつ？」というクイズの答えを探します。

目標

* 共同して問題解決をすること
* 算数の言葉を算数の問題に変換すること

カード１

「６つの数はそれぞれいくつ？」

　－　６番目の数は、３番目の数の４倍で、１番目の数の８倍

カード２

「６つの数はそれぞれいくつ？」

　－　３番目の数は、２番目の数に１を加えたもので、４番目の数から１を引いたもの

カード３

「６つの数はそれぞれいくつ？」

　－　４番目の数は３番目の数と４番目の数を足したもの

カード４

「６つの数はそれぞれいくつ？」

　－　最初の６つの数を足すと、答えは２０１３年５月１７日

カード５

「６つの数はそれぞれいくつ？」

　－　３番目の数を３乗すると、答えは６番目の数

カード６

「６つの数はそれぞれいくつ？」

　－　１番目と２番目の数は同じ